



# ネイチャー通信 センター

## 樹洞を使う生きもの

樹洞とは、木の幹が腐るなどしてできた空洞のことです。枝が折れたり、幹に傷ができたりすると、そこから木材腐朽菌が入り、材の部分が腐って空洞になります。そのまま全体が腐って木が枯れてしまうことはなく、形成層や水の通り道など、大切な部分は生きた細胞から菌に侵されにくい物質が分泌され、防御壁を形成し守られます。こうしてできた樹洞のほか、アカゲラなどキツツキ類によって掘られた樹洞もあり、よく見ると森のあちこちに大小さまざまな樹洞が見つかります。

繁殖期に入る5月ごろから、木々にあいた樹洞を覗いて周る小鳥たちの姿が見られるようになります。春国岱周辺では、ハシブトガラやシジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、コムクドリ、スズメなどが、樹洞を使って子育てをします。それぞれ巣が決まるまで、激しい樹洞の争奪戦が繰り広げられます。

小鳥たちは気になる樹洞を見つけると中を覗き、出入りをして具合を探ります。ハシブトガラなどカラ類のつがいで、一羽が穴の様子を探り、もう一羽に様子を見てもらっては飛んで行くといった姿が見られます。夏鳥のコムクドリは、オスが穴を見つ

け、せっせと掃除をしたりしながらメスを大きな声で呼びます。メスが近くに来ると穴に出入りしながらアピールをします。自然学習林で出会ったあるつがいは、メスが穴に出入りした後そっけなく飛び去ってしまい、オスが慌てて後を追いかけて飛んで行きました。気に入ってもらうのも一苦労です。

樹洞は小鳥だけでなく、エゾモモンガなどの哺乳類にも利用されます。さまざまな生きものが利用する樹洞ができるには、ある程度の木の太さと時間が必要です。そのため、伐採などで細く若い木しか生えていないような場所には、巣箱を設置して営巣環境を補完することもあります。

レンジャー 手嶋 洋子



樹洞を巣にする  
コムクドリ



## 今月の一枚

第17回根室市植樹祭  
5月22日「市民の森」

「元気に育ってくれよ」と  
一本一本を丁寧に、180人の  
手で植樹。

### 根室市の人口

平成23年5月1日現在（ ）前年同月比

人口 **29,357**人 (-475)

男 **14,101**人 (-241)

女 **15,256**人 (-234)

世帯数 **13,021**世帯(-106)

広報ねむろ 2011 6月号 No.854

発行 根室市役所総務課

印刷 根室印刷株式会社

■根室の桜も開花し、春の陽気を感じます。長い冬の色のない風景からミズバショウなど、色とりどりの花々が芽吹き、目を樂ませてくれます。意識してみると、今まで気付かなかった風景に出会える季節かも知れません。新たな発見を探してみようか。(H)

編集後記  
ねむろ  
アングリ

### 住宅用火災警報器は設置しましたか？

6月1日から、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が必要となりました。

住宅用火災警報器は、いち早く火災をお知らせする重要なアイテムです。

まだ、設置していないご家庭は早く設置をしましょう。

問合せ 根室市消防本部 TEL (24)3164番

